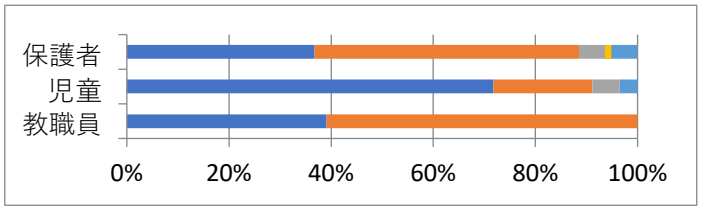
令和5年度　学　校　評　価

そう思う　どちらかといえば、そう思う　どちらかといえば、そう思わない　そう思わない　わからない

①いのちを大切にする心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

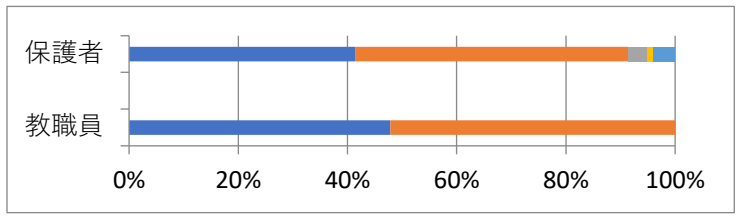
1　一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていると思いますか。



2　道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）

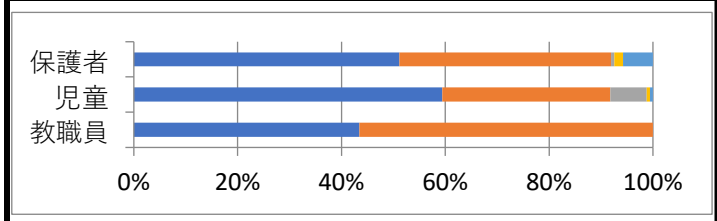


【考察】保護者、児童、教職員ともに肯定的な評価は９０％を超えている。また、「一人一人の児童の尊重」「道徳・心の教育の充実」の項目ともに保護者の「そう思う」の割合が昨年度より７％高くなっており、今後も児童一人一人に寄り添った心の教育を継続していくことが大切である。保護者、児童の肯定的でない評価を真摯に受け止め、改善を図っていく必要がある。

②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

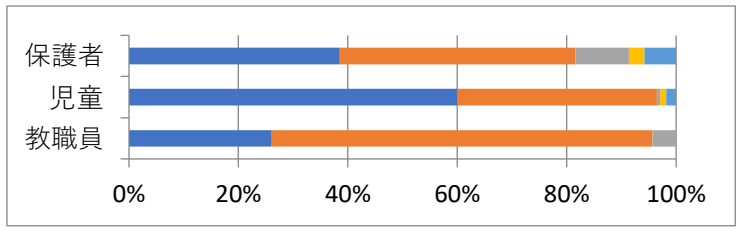
3　授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



4　タブレット端末活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

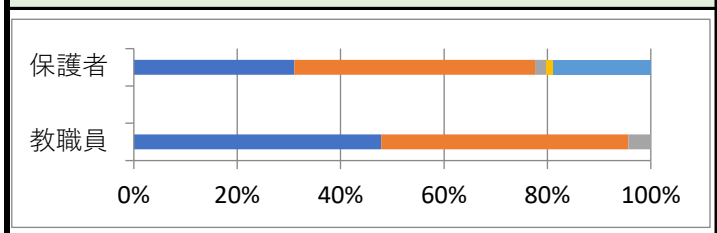


【考察】「わかる授業、楽しい授業づくり」の項目では、保護者、児童、教職員ともに肯定的な評価が９０％を超えている。対話しながら学びを深める子供主体の授業について、今後も研究を進め、授業改善を図っていくことが重要である。タブレット端末の活用については、昨年度より児童の肯定的な評価が高くなっている。一方で、保護者の評価が低くなっているので、より効果的なタブレット端末の活用を図っていく必要がある。

③教員が子どもと向き合うための体制の整備

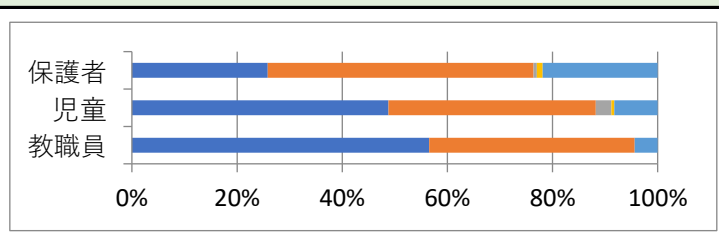
5　学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

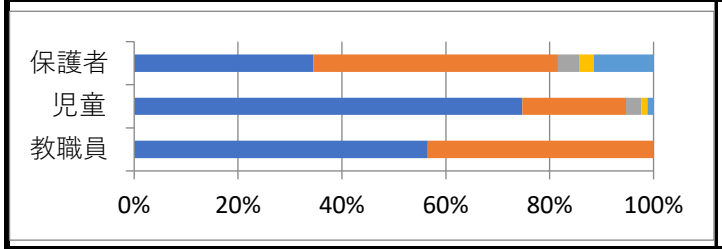
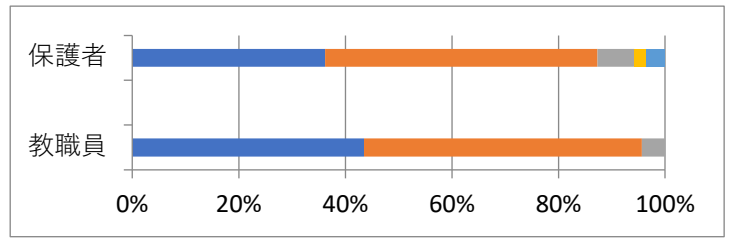


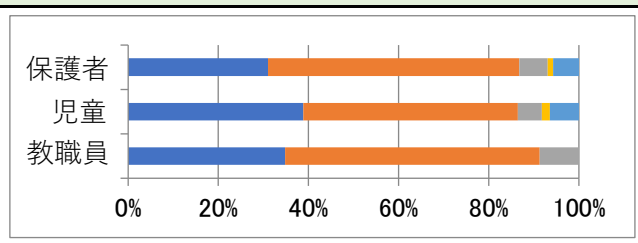
6　共生社会を担う人材の育成

学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。



【考察】学校の支援体制について、保護者の肯定的な評価は昨年度より５％高くなっており、本校における特別支援教育の取組に対して一定の成果がうかがえる。しかし、保護者や児童で「わからない」と回答している割合が高いので、本校の特別支援教育の体制や意義を今後も継続して発信していく必要がある。

④　学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進	
7　安全と事故防止	8　家庭や地域との連携協力
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。
	
【考察】「家庭や地域と連携・協力」の項目では、昨年度と比べ保護者の肯定的な評価が１０％高くなっている。学校行事やPTA行事、地域のお祭り等、コロナ禍以前の状況に戻りつつあることが要因と考えられる。安全教育については、児童の「そう思う」の割合が昨年度より６％高くなっている。日常指導に加え、避難訓練、保健学習の充実も継続して図っていく。	

⑤　学校独自	
9　他者のために進んで働く態度	
子どもたちは、自分にできることを考え、みんなのために進んで行動したり働いたりできていると思いますか。	
	
【考察】肯定的な評価は、昨年度に比べ大きな差はなかったが、児童の「そう思う」と回答した割合が４％高くなっている。場の設定、振り返りによる児童の自覚、教職員の声掛け等が結果に表れていると考えられる。今後も、児童自身ができることを考えながら取り組むことのできる場を計画的に設定し、児童の自発的な行動を促していく。	

来　年　度　の　具　体　的　な　取　組　に　つ　い　て

〇今年度、児童の「心理的安全性」をキーワードに全職員共通理解のもと教育活動を進めてきた。「一人一人の児童の尊重」「道徳・心の教育の充実」の項目で保護者からも評価をいただいているので、次年度も本校の教育活動の核として継続して取り組みながら学校教育目標の実現を目指していく。
〇コロナ禍になる前のように、学校行事や地域の行事等を開催することができるようになり、学校、保護者、地域が実際に関わる機会が増えてきた。お互いに関わっていく中で、信頼関係を築いていき、共通理解のもと教育活動を進めていくことができるよう努めていく。

学　校　関　係　者　評　価

〇毎日の登下校の見守り活動を行う中で、児童のあいさつが以前よりよくなっていると感じている。今後も、児童の安全を見守るとともに、児童へのあいさつの声掛けを継続して行っていく。学校も継続してあいさつの指導を行っていただきたい。
〇地域の清掃を進んで行った児童がいた。学校でのボランティア活動が生かされていると思われる。
〇昨年度と比べ、肯定的な評価が全体的に高くなっていると感じる。今後も、学校・家庭・地域の連携した教育活動を行っていただきたい。